

# 研修旅行行程記(A班)

～中国地方の鉄道～ 前編



↑広島駅で顔を合わせたオールドフェイス 105系とニューフェイス 227系

## 0 はじめに

鉄道研究部では毎年文化祭終了後にテーマを決め、夏休みに研修旅行へ行きます。今年のテーマは「中国地方の鉄道」ということで、鳥取、島根、広島へと行きました。(ちなみにですが今回のテーマ及び行程は筆者が発案(行程は研究班が微調整)しました。それでは、本文に入っていきたいと思います。2015年の研修旅行、スタートです。

## 1 出発～集合・・・朝は強い・・・

朝の8時。目覚ましが鳴る。特に眠気はなく、リビングへ行くと母に「旅行やと、はよ起きれるねんな」と言われたが、筆者は鉄道の為なら早朝4時前に起きたりするので、朝は強いのだ。

朝食はパン1枚。10分足らずで食べ、さっと準備を済ませて家を出る。自宅から最寄り駅までの10分の間に強烈な暑さに汗をかかされ、これからに不安を覚えた。

大阪に到着後、集合場所に行く前に Heart in で昼食用のおにぎりを購入。集合場所に向かうと既に部員の6割がいたが、A班がほとんどでB班の先に不安を感じたのだった....

## 2 大阪～智頭・・・移動に楽しみを見つけよう・・・

大阪	1030	集合時刻
	1100	
姫路	1201	新快速姫路行
	1204	普通播州赤穂行
相生	1223	
	1225	普通岡山行
上郡	1238	
	1243	スーパーはくと5号倉吉行
智頭	1321	
智頭急行 取材 (1345～1515)		
智頭	1554	
鳥取	1644	普通鳥取行

### ←1日目の行程表

筆者到着後は続々と部員がやって来た。さらには元部員の某OBまでいらっしやった。そして集合時間の10分前には全員集合していた。時間前行動は当たり前のことであるが、筆者が研修旅行で集合時間前に全員集合したのは初のことである。非常に幸先の良いスタートができ、部長であるT君はテンションが妙に高かった。

その後集合場所で並び、OBに見送られながら改札を通る。ホームに降りて部員を4分割。いわゆる「分散乗車」を行う。やってきた新快速は225系。いくらラッシュ時を過ぎているとはいえどいきなり全員座ることはできなかったため、中1から学年順に座らせる。筆者は三ノ宮付近でボックスシート確保。神戸でA班は全員着席できた。三ノ宮の時点で全員着席可能であったが、なぜか三ノ宮で部長は座らなかった。しばらくは周りに座ったF君ら中3と会話し時間をつぶす。明石発車後に一足早い昼食タイム(筆者のみ)。大阪で買ったおにぎりをほおぼる。気が付けば終点の姫路が近づいていた。

姫路で乗り換える普通は向かい側に止まっていたためそのまま流れて乗り換え。車内で軽く点呼を行う。ちなみにA班の半分とはぐれ、別の車両になったため同じ車両にはA班の半分+O先生しかいなかった。筆者は座れなかった為、相生までの20分間は立ちっぱなしで独り哀しく窓の外を眺めていた。

相生でまたも普通に乗り換え。車両は真っ黄色の115系である。またも座席に座れなかった筆者。ドア窓からののどかな景色を眺め、国鉄車両独特の音に耳を傾けた。実に退屈な時間だったが、仕方ない。鉄道は移動するものだ。上郡で降り点呼をとる。

乗車していた115系を見送り、いよいよ特急スーパーはくとに乗る。ちなみに智頭急行は団体での指定席は取れないらしく、自由席に。自由席は1、2号車で、A班が1号車、B班が2号車に乗ることとなった。筆者ははじめは座席に座れたが、ここでも「学年が下の者から着席令」が発動。結局中3に席を譲り、筆者はデッキへと追いやられた。デッキにはA班高校生とO先生。次の停車駅の佐用でそれなりに降りたため全員着席。筆者はY君と並んで座った。前から3列目だったため、HOT7000のパノラマを楽しめた。車内チャイムを録音したかったが、周りに子供がいたため断念。一番前の座席は親子連れで、スーパーはくとが子供に人気であることに筆者は驚くばかりだ。

カーブを高速で曲がるための「振り子」と高速走行を楽しむうちに智頭到着。点呼し並んで改札外へ。そして一旦トイレ休憩し、社員の方がいらっしやるまで待機。

### 3 取材～宿・・・お墓が多い(確信)・・・

他の高2と「本社どこだろう」と話しているうちに社員の方がいらっしやった。

本社は駅前のJAの上にあった。建物内に入り、取材を受ける部屋に到着。列の前の方にいたため、最前列にY君、T君、筆者の順に座る。そうして全員着席したのち取材開始。なんと社長さん直々に



取材に応じていただいた。社長は北越急行の社長と仲が良いらしく、また高槻にプレゼンをしに行ったことなど様々な雑談を交えてお話ししてくださった。中1から質問が出なかったのは残念だったが、非常に気持ちの良い取材であった。智頭急行については <http://takatsukitekken.web.fc2.com/sta15/15-5chidukyu.pdf> をお読みください。



駅に戻り改札に入る。既に乗車予定の普通のキハ47形が止まっていた。2両だったがA班B班で車両を分け乗車。発車まで時間があつたので部員は皆撮影をしていた。

発車3分前に車内に部員を連れ戻す。筆者はT君と車端部のボックスシートに座り雑談を交わす。進行方向左側に

座っていて、窓の景色を眺めているとふと気付く...

なぜかやたら「お墓」が多い。実は筆者、この研修旅行でお墓を見なかった日はないのだ。お墓探しが移動の楽しみになってしまった。嗚呼恐ろしい。

台車の上で揺れを楽しんでいると、もう鳥取手前。車窓からコンビニが見えると「やっと都市部に来たか」と感じた。ホーム上は学生で混雑していたが、全員無事降車。改札を出て、ふと電光掲示板を見ると「京都」の文字が見える。まだスーパーはくるとに乗れば一本で地元に戻れると思うと、案外鳥取が近く思えた。

駅前のロータリーから宿までは徒歩。一瞬迷いかけたが、本日のお宿「鴻南閣」に到着。宿の前の通りの奥には「しいたけ」と書かれた建物があった。しかもひらがなで。いったい何の建物か部員と話していたが結局わからず。宿に入るなりロビーで軽くミーティングし、夕食券が配られたのち部屋へ。和室の5人部屋だった。なお冷蔵庫はなく、トイレや洗面所は共同で、筆者のテンションは下がった。

#### 4 鴻南閣・・・消灯時間は守れません・・・



部屋で時間を潰し、18時半から一階の食堂で夕食を食べる。研修旅行ではほとんどの場合夕食は駅周辺で自費で食べるが、今回は宿で食べる。高2全員とK君と一緒に机で食べる。テレビが真上でかなりの音量で流れており少し気になった。

食事後部屋に戻り、隣の10人部屋でミーティング。ロビーは狭かったので10人部屋で行われたが、10人部屋に余裕で30人入ったのは驚きである。今回のミーティングは諸注意以外に、緊急連絡先の回収や特急料金の徴収が行われた。なんだかんだでお風呂タイム開始ぎりぎりに終了。

風呂は大浴場で学年ごとではなく部屋ごとに入ることに。筆者は数日前に散髪をした為髪の毛を洗うのは一瞬であった。特に目立ったことはなく上がろうとしたがみんな上がらない。みんなのぼせないのかな。そう思っているうちに交代の時間が迫っていた為ささっと服を着る。ちょうど脱衣所を出たところで次の入浴組とすれ違った。

その後、筆者の部屋に様々な人がやって来たのでとあるゲームをすることに。偶然部屋に大量の座布団があったので座布団を使いながら「〇〇といえばゲーム 鉄道 ver.」を発案。筆者とT君とH君と中2全員の計9人で、お題を出し合い答えの一致を狙う。というものだ。気が付けば消灯時間である22時の15分前になっていた。中2らを部屋に返し、お布団を敷いて歯を磨いて点呼待機。22時過ぎに顧問の先生2人に点呼を受け布団に入る。と言っても筆者はすぐに寝付けるはずもなく、家にいるときと同じように午前1時半まで寝付けなかった...

#### 5 宿～出雲・・・信頼と期待は異なるもの・・・

鳥取	824	スーパーまつかぜ3号米子行
米子	930	
米子	1015	やくも3号出雲市行
出雲市	1103	
電鉄出雲市	1225	普通出雲大社前行
雲州平田	1245	
一畑電車 取材 (1315~1445)		
雲州平田	1509	普通電鉄出雲市行
電鉄出雲市	1531	

←2日目の行程表

翌朝、目が覚めたのは5時45分。部屋員はほぼ起きていた。起床時間はまだだがとりあえず着替えを済ます。聞くとところによるとM君もH君も一時頃まで寝付けなかったとか。筆者自身も取材で寝ないか心配だった為、一応注意しておく。そうこう

するうちに朝食のお時間。1日目の夕食と同じ席、同じ面子で食事。テレビでは中国のエスカレーター事故の話をやっていた。

朝食を食べ終え、部屋に戻る。チェックアウトまでは時間があったが、片づけたり歯を磨いたり色々してるうちに時間が迫っていた。ロビーに行くと半分ほどの部員が

いた。ロビーで芋洗い状態になりながら待つ。部員が整い、点呼を受けたのち列になり宿を出発。正直その時点で「しいたけ」のことはすっかり失念していた。駅前までに歩いている人や自転車に乗る人をほとんど見なかった。その代わりに車ばかり見かけるので、車社会だなーとつくづく思った。



鳥取駅に着き、トイレタイム。その間に部員らは写真を駅前の因幡の白兔のオブジェを撮っていた。

数分後、部員が揃い点呼。改札を通りホームに上がるとスーパーはくにと、乗車予定のスーパーまつかぜに挟まれた。関西では1つのホームで気動車に挟まれることはあまりないのでとても興奮した。さらにスーパーまつかぜの前には、同じキハ187が超ぎりぎり縦列駐車していた。これも関西ではあまり見る事のないので興奮。そのキハ187は回送で、部員が乗車前に発車していった。

そして乗車。指定席なので座れることが確約されており喜ぶ筆者。座席は4列で2列+2列。一番前の列で顧問の先生2人と筆者とT君でどう座るかということに。キハ187には進行方向右側は前面展望ができる窓があり、左側は運転室の後ろで窓がない。そこは顧問の先生、我々に前面展望を譲ってくださるかを期待して、「どっちでもいいですよ」と言うや否や「じゃあ俺らこっち座るわな」。我々は期待しすぎたのだろうか...

結局右側に着席することに。筆者は窓側、T君は通路側に。しかしだ。通路側は体を少し右に寄せれば前面が見える。筆者完全敗北。結局車窓を見ることに。だが何度もお墓を見ることができ謎にテンションが上がる。この現象を「安定の進行方向左側にお墓」と名付けた。その間顧問の先生は昨晚の緊急連絡先を書いたりしていた。しばらくすると湖山池が左側に見えた。ぼーっとしつつ車窓を楽しむ。倉吉を出たのちT君とウトウトしていた。気づくと到着10分前。部員を降ろして改札を出る。駅前でA班とB班を分けてトイレ休憩。そしてB班が先に出発。ここからB班とはほぼ別行動になる。B班の行程記は

<http://takatsukitekken.web.fc2.com/sta15/15-28trip2015B.pdf> をお読みください。

米子の駅前は鳥取の駅前より高い建物やオブジェクトが多かった。特にC57の動輪がおいてあったのには部員一同テンションが上がった。次に乗るやくもの出発20分前に改札内へ。まだ入線してなかった為、荷物を固めて撮影タイム。キハ40系列のたらこみみたいな色が大量にいた。特に、日に焼けて色が薄くなっていて、パッチワークで色がまだらになっていたキハ47形はすごい見た目になっていた。入線の5分前には部員を集合させ、乗る順に従って並ぶ。がしかし乗車位置がずれるミス。ぞろぞ



ろホームを移動し乗り込む。事前に座席位置は知らされていたが、その時隣に誰かが座っているかもと言われた。一般の人の隣か、と思っているとなんと一人席!381系は構造上一人席が発生する。勝利した筆者。音鉄活動も怠らない。ゆったりやくもには車内チャイムがついていたの

で、駅到着前にスピーカーのところへ行き録音しまくった。また、ブレーキの緩解音が変な音で音鉄魂をそそられた。だが音鉄しながらお墓を発見する。しかも左側に。宍道湖は右に見えた。気が付けば出雲市駅接近。

筆者お気に入りの言葉→



## 6 出雲～取材・・・蕎麦屋で UDON・・・



到着後部員を降ろし点呼。その後改札を出て駅前の大きな屋根の下へ。出雲大社の「平成の大遷宮」でのPRとして建てられたのだろう。下に特に何もないので集合場所にはぴったりである。そのまま電鉄出雲市駅へ歩いていく。とりあえず駅のコインロッカーへ大きな荷物を入れる。その間にY君が

往復分の回数券を購入しみんなに配るが、回数券は11枚つづり。A班は14人。結局3人が普通の切符を買った。その後解散し昼食タイム。Y君にいい店があるとT君と連れられ、蕎麦屋に入る。中には既にほとんどの部員とO先生が。なぜか天ぷらうどんを頼む筆者。そして天かすを大量に投下する。蕎麦屋でうどんを頼むことに抵抗などない。そこにうどんがある限り。猫舌ながらも早めに食べ、駅舎を撮影しに店を出た。

撮影後は電鉄の駅へ。まだ部員の数は少なく、JRの駅下の方がクーラーが効いていたのでそこで待機。部員が集まり点呼。12時15分頃から改札開始。実は研修旅行

の行程で自動改札は広島駅と岩国駅しかない。手動改札独特のパンチが開けられホームに上がる。乗車するのは東急の中古車。VVVF インバータで省エネ仕様となっている。



←筆者らが乗車した車両

部員はこぞって撮影。出発数分前には全員を車内へ入れ、筆者は一番前の扉横へ立つ。が、ワンマンなので邪魔になるため着席。列車発車後、聞きなれたインバータ音が。筆者が「京阪 7000 と同じやな」と言うと T 君「いや阪急 8300 やろ」と。口論するも結局結論出ず。

のどかな車窓に目を向ける。周りには田んぼと山が広がっており、いい雰囲気が出ていた。相変わらずお墓を見つけていたが。



20 分ほどで目的の雲州平田に到着。改札を出たところにベンチがあったためそこで待機。10 分少々待機して、駅の正面から出てそのまま左へ回り込むと事務所があった。駅舎の二階にあるらしい。そのまま建物の中で待機する。すると先に 2 階に行かれた O 先生が戻って伝えられたのは、事務所内で

全員座ることができないとのこと。結局駅舎のベンチで待機することに。やがて担当の方がいらっしゃって案内される。改札内に入り、裏の道を通って駅と線路を挟んで反対側へ。建物の二階へ上がり取材開始。一畑電車については <http://takatsukitekken.web.fc2.com/sta15/15-6ichibata.pdf> をお読みください。

## 7 取材～夕食・・・蕎麦屋は SOBA を食べる場所です・・・

時間通りに取材が終わり駅に戻る。またも駅のベンチで 10 分ほど待ち、改札を通して列車を待つ。取材中に窓から見えた「縁結び電車」に乗れるか期待したが残念ながら普通の車両であった。座席に座りぼーっとしていたら出雲市駅に近づく。やっぱり往路で見たお墓が見えたのだった...



その後コインロッカーから荷物を取り出し、先着の B 班と合流。宿に向かおうとする方法が決まらない。1km ほどなので筆者は徒歩を提案したが、重い荷物を持ったまま暑い中を歩くのは酷だということで却下。バスかタクシーかで割れる。タクシーの方が安いということでタクシー派多数になり全員タクシー移動。幸い駅前にはタクシーが大量に止まっていたので、待たされるということはなかった。筆者は高 2 と乗る。なんと女性運転手。タクシーの女性運転手は全国に 2% しかいないそうだ。

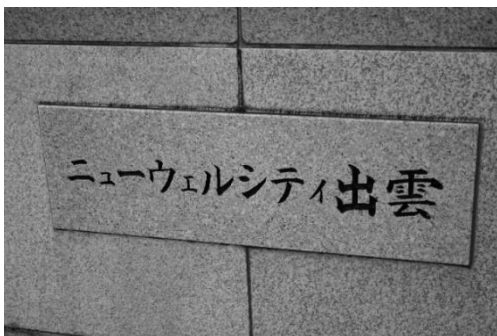


←島根県観光キャラクター『しまねっこ』

筆者らは最後にホテルに到着した。O 先生がチェックインの手続きをしている間ふとあるものを見つける。ホテルの送迎用バスがあったのだ。しかも 29 人ちょうど乗れるものが、なぜ使わなかったのか疑問に思いつつホテル内へ入る。鍵と入浴券を渡され説明を受ける。タブレットを差すと部屋に電気がつくタイプだった。基本的にそのタブレットは鍵についているものだが、タブレットが別々になっていた為、部屋にクーラーをつけたまま外出することができる親切設計。筆者のテンションは上がる。部屋に入ると冷蔵庫がありさらにテンションアップ。夕食まで時間があつたためテレビをつけると某青い(耳なし猫)狸のアニメをやっていたので部屋員全員で鑑賞。その後いろいろ時間を潰して、ロビーに降りる。

フロントに鍵を預けて夕食のために駅までぞろぞろ歩いていく。駅前で解散。筆者らは最初は駅から見える蕎麦屋に行こうとしたが、他の部員がみな流れていくのを見て断念。結局昼食と同じ蕎麦屋へ。さすがに 2 回もうどんを食べる気にはならない。ここは名物の割子そばを頼んだ。なかなかおいしかった。店を出て、その後時間があつたのでお土産と、じゃがりこを購入。そして駅前の屋根の下に集合。中一が時間ぎりぎり帰って来て、全員揃い、またぞろぞろと歩いて宿に戻っていった。

## 8 ニューウェルシティ出雲・・・消灯時間とは何か・・・



ホテルに戻り、即ミーティング。ホテルの人に頼んで、有料スペースを 30 分ほど貸切で使わせていただいた。ミーティングでは取材態度に対する注意などが述べられた。ホテルには部屋にユニットバスがついているが、大浴場もある。どちらでもいいということで、



入る人は学年でまとめるということになった。高2は筆者とY君しかいなかった為、筆者は中3と、Y君は高1と入ることになった。部屋に戻り、入浴券を配る。大浴場を利用する際に必要だそう。20時50分に入浴。天然温泉がついていた。上がってじゃかりこをつまむ。他人の部屋を覗くと騒がしいので、一応注意しておいたがあまり効果はなかったようだ…。消灯時にはしっかり自室に戻っていたようだが。そして点呼。筆者は相変わらず寝付けず、寝たのは1時過ぎであった。

後編に続く⇒<http://takatsukitekken.web.fc2.com/sta15/15-27trip2015A2.pdf>